

長岡市子ども・子育て支援事業計画（素案）への子ども・子育て会議委員からの要望・質問に対する回答

No.	ページ・行 事業番号	要望・質問	長岡市の回答	担当課
1	P34 1-1-3	<p>③ライフデザインに関する情報提供（市民活動推進課）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「あぜりあ」等は、男女共同参画社会への理解を深めるため、広い世代の人たちに見て欲しいものであると感じている。市政だよりと一緒に配布や、各町内へ回覧板で回すことで、広く市民の目に留まりやすくなると思う。 	<p>情報誌「あぜりあ」につきましては、幅広い世代の方にご覧いただけるように市庁舎をはじめ、図書館、子育て支援施設、コミュニティセンター等の公共施設に設置しているほか、市内銀行、病院、学校等にも配布しております。</p> <p>市政だよりと一緒にした配布などについては、今後の検討課題とさせていただきます。</p>	市民活動 推進課
2	P36 1-3-1 1-3-2 1-3-3	<p>①児童館の運営 ②放課後児童クラブの実施 ③放課後子ども教室推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童館の運営、放課後児童クラブの実施、放課後子ども教室推進事業等で親が子どもを預けることができ仕事と子育てが両立できるように受け皿が整備され、年々充実されている。しかし、必ずしも子どもたちの活動が楽しく安心して過ごせていないとの指摘もある。子どもが安心して過ごせ、親も安心して子どもを預けられるように運営面の充実を図っていく必要がある。 	<p>児童館・児童クラブにおいては、児童厚生員が子どもたちの見守り・指導を行っています。子どもたちが安心して楽しく活動できる場になるよう、児童厚生員への研修会等の機会を捉え、質の向上を図るとともに、各児童館・児童クラブにおいて工夫した運営活動がなされるよう市として指導していきたいと考えております。</p> <p>放課後子ども教室については、地域の方が主体になり指導者、ボランティアを中心に活動しています。子どもたちの意見や考えを取り入れながら、自主性・主体性を身につけられるような活動ができるよう工夫していきたいと考えております。</p>	子ども家庭課
3	P48 2-2-2	<p>②子どもの発達や成長に関する相談・支援【こどもすこやか応援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育園運営者として大変重要なもので、発達障害の子どもたちに対する適切な助言をいただいている。しかし、数か月先まで予定が埋まっているようで、現場のスタッフの少なさが課題だと感じている。増員をお願いしたい。 	<p>近年、特別な配慮を要する児童が増加傾向にあり、現場の保育士全体の資質向上が必要です。今後も園支援を通して現場の専門性の向上につながるよう、相談支援体制の充実に努めていきたいと考えております。</p>	保育課

No.	ページ・行 事業番号	要望・質問	長岡市の回答	担当課
4	P48 2-2-4	<p>④養育支援訪問事業【産前産後サポート事業】 ii 産後ケア訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養育困難家庭の判断基準は何か。また、どうやって見つけるのか。 ・現在、退院翌日から育児に不安のある方からの沐浴や乳房ケアの依頼に対応している。その方々と産後ケア訪問を受ける方をどのように分け、対応していくのか。判断基準を教えてください。 	<p>養育困難家庭とは、いわゆる虐待のリスクが高いと判断される家庭を想定しています。具体的には以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年、妊婦健診未受診、望まない妊娠等、妊娠期からの継続的な支援を特に必要とする家庭。 ・産後うつ状態、育児ノイローゼ等によって子育てに対して強い不安や孤立感を抱える家庭。 ・食事、衣服、生活環境等で不適切な養育状態にある家庭。 <p>対象者の選定は妊娠届出時、医療機関連絡、乳児全戸訪問事業等からつながってくることを想定していますが、自ら不安の解決に向けて行動がとれている産婦（沐浴依頼ができる方等）は対象と考えていません。リスク要因をアセスメントし、子ども家庭課が対象と判断した方のみとなります。</p>	子ども家庭課
5	P49 2-2-4	<p>④養育支援訪問事業【産前産後よりそい事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て経験者等が支援を行うとなっているが、地域の母子保健推進員が支援者となるのか。それとも専門知識を持つ方になるのか。 	<p>専門職に限定せず、地域の母子保健推進員やファミリー・サポート・センターの提供会員、またこんにちは赤ちゃん訪問の従事者へも協力が得られる方に依頼します。赤ちゃんのお世話についてや面接技術等の研修を実施する予定です。</p>	子ども家庭課
6	P61 3-1-5	<p>⑤放課後児童クラブの障害児受入体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後発達支援コーディネーターとはどのような立場の人か。 	<p>放課後発達支援コーディネーターは、児童館・児童クラブを訪問し、配慮が必要な児童への対応として児童厚生員へ助言、指導、相談にのるほか、学校・家庭・その他関係機関と連携しながら、児童に対して適切な対応ができるよう継続して支援を行っていく者と考えております。</p> <p>小学校特別支援の現場経験のある教員OBを想定しております。</p>	子ども家庭課
7	P66 3-1-15	<p>⑮子どもふれあいサポート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までに何度か、不登校やいじめの件を教育委員会に相談しても親身に聞いてもらえないため、解決しないという意見を聞いたことがある。本当に苦しんでいる子どもたちの助けになると良いと心から思う。 	<p>今年度「長岡市いじめ防止基本方針」及び「学校いじめ防止基本方針」を策定・公表し、いじめ、不登校等生徒指導上の諸問題に市と学校が一体となり取り組んでいます。御指摘の点は真摯に受け止め、いじめ、不登校の未然防止及び即時対応を実践し解決に向け全力で取り組んでまいります。</p>	学校教育課

No.	ページ・行 事業番号	要望・質問	長岡市の回答	担当課
8	P71 3-5-1	<p>①子どもの学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活困窮家庭の子どもでも、その場に行かないと個別に学習を受けることができない体制ということだが、生活困窮者という状況は、生活のため両親共働きで多忙であったり、疾病や傷害なども考えられるのではないかと懸念され、比較的子どもが自力で行けない場所では支援策があっても一部の子どもしか利用できないのではないかと懸念される。比較的子どもの徒歩でも集まりやすい地域のコミュニティセンターの利用や、家庭状況によっては各家庭へ訪問しての学習支援など、臨機応変な対応体制があることが、確実な支援につながると思う。 	<p>現時点では本事業の参加者数を具体的に見込むことができていないため、当面は市内中心部に学習支援の拠点を1か所設け、そこに通ってもらうこととしています。しかし、何らかの事情により自力で通うことができない子どもについては、無料または低額での送迎を実施することを検討しています。また、遠方に居住する子どもの支援については、参加希望者の具体的なニーズ把握や学習支援の拠点となる場所の確保など、支援体制の整備についても検討する必要があると考えています。</p>	生活支援課
9	P72	<p>ワーク・ライフ・バランスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 意識啓発活動のさらなる発展と企業に見える化などをしてほしい。 くるみんマークがプラチナくるみんマークを発表している。商品表示や税優遇などもアピールしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本市では、ワーク・ライフ・バランスの推進に向け、企業や市民向けに各種セミナーを開催しております。また、長岡商工会議所、長岡青年会議所、連合中越地域協議会、新潟県女性財団とも協働でセミナーを開催し、意識啓発を図っています。今後もこれらのセミナーを継続して実施するとともに、新たに企業に出向いた講座の実施や企業への子育て支援情報の提供にも取り組んでまいります。 新潟県の「ハッピーパートナー企業登録制度」への加入を推奨するためのPRや企業訪問活動などを行うとともに、登録企業の取組みを紹介するパネル展を開催するなど、見える化に取り組んでまいります。 	商業振興課 市民活動 推進課
10	P72	<p>ワーク・ライフ・バランスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 父親・母親とも、仕事、家事・育児、自分の時間等「全てを両立させたい」と希望しているが、実際は「仕事」または「家事・育児」を優先せざるを得ない状況である。県や国と連携し、企業が従業員の子育てを応援できるような環境づくりを支援していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年4月1日から「プラチナくるみん」認定制度が始まることに伴い、新潟労働局と連携を図り、HP等を通じて市内企業に対し、認定のメリットについて広報するなど、企業における両立支援の取組みを推進していきたいと考えております。 	子ども家庭課

No.	ページ・行 事業番号	要望・質問	長岡市の回答	担当課
11	P80 5-1-1	<p>①子育てコンシェルジュ（仮称）事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援事業は多岐にわたり、社会状況の急な変化も相まって大変複雑で分かりにくくなっている。専門性を持ってその人に合った適切な助言・情報を与えられる機関が必要だと思う。 きめ細かな情報提供を確実にし、相談しやすさが様々な親子の問題解決になることを期待したい。 コンシェルジュが持つ「長岡の子育てに関わる情報」を母子保健推進員や子育て支援に関わる人たちと共有できるよう、学習会を開催し、地域でも気軽に確実な情報が受け取れるように、広げていくこともよいのではないかと。 	<p>子育てコンシェルジュが幅広い子育て支援情報の中からその人に適した情報を提供できるよう、子育てに関する専門知識や本市の子育て支援情報に関する研修を行います。</p> <p>また、子育て支援に携わる団体及び個人とも情報が共有できるような仕組み作りについても検討してまいります。</p>	子ども家庭課
12	P84 5-2-5	<p>⑤青少年の非行に関する情報収集及び社会環境の実態調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般市民からも情報提供ができると良いのではないかと。 <p>中高生が駅前のカフェやアオーレ、スーパー等で長時間、携帯電話を充電しながら、本を山積みにして自習している様子が気になる。防犯上の理由から、自習室等へ移動するよう、学校やパトロールの方からの声かけがあると良い。自習室がパンク状態であるなら、制限時間や指定席制にするなどの見直しが必要だと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一般市民から青少年育成センターへ情報をいただいたケースもあります。更に情報提供がなされるよう、一日青少年育成員体験事業の参加者（小・中・高の保護者等）へ、青少年育成センターの事業及び青少年育成員の活動内容について、より一層の周知に努めます。 街頭育成活動において、非行化の未然防止活動の立場で、公共施設等を利用している青少年たちへも「愛の声かけ」活動を積極的に進めます。 	子ども家庭課
13	P98	<p>地域子育て支援拠点事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターは施設によって質が違いすぎる。質が伴わないところについては閉所して他の事業を行うなどした方が良いのではないかと。 	<p>子育て支援センターが子育て中の親子が気軽に集い、交流や相談できる場となるよう利用者の意見や、事業内容等を踏まえ、今後のあり方について検討してまいります。</p>	保育課
14	P111	<p>推進体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政の担当課が多くの課に渡っているため、子どもや親の声が伝わるのに時間がかかったり、問題が解決せずに過ぎてしまうことが多くあった。今後は各課の連携を密にして、「子どもが第一」であるようにしてほしい。 	<p>今後は一層、各担当課の連携を図り、すべての子どもの幸せや健やかな成長を第一に考え、子育て支援に取り組んでまいります。</p>	子ども家庭課

No.	ページ・行 事業番号	要望・質問	長岡市の回答	担当課
15	全体	子どもの預かりについて <ul style="list-style-type: none"> 社会的に孤立傾向にある家庭が少なくない状況であるため、緊急時に子どもを預けられるシステムの充実について検討していく必要がある。 	保護者が、けがや病気等で緊急に預けたい時や、育児に伴う心理的な負担を軽減するため保育が必要な時に、保育園や子育ての駅の一時保育やファミリー・サポート・センターの一時預かりをご利用いただいております。今後も子育て支援の充実に向けてまいります。	子ども家庭課 保育課
16	全体	父親に対する啓発、支援策が少ない <ul style="list-style-type: none"> 地域で子どもの遊び場づくりを行うNPO等への支援を充実してほしい。 	父親や夫婦を対象とした講座等の周知に努めます。また、父親が中心となり活動している団体をはじめ、地域で子育て支援に携わっている団体等のネットワークづくりを推進してまいります。	子ども家庭課
17	全体	父親に対する啓発、支援策が少ない <ul style="list-style-type: none"> DV防止に向けた男性への啓発活動、相談・カウンセリング窓口を設置してほしい。 	男女にかかわらずDV防止のための意識啓発を実施することは大変重要であると考えております。現在のDV対策は被害者の支援が中心ですが、男性への啓発・支援については国・県の動きを見ながら対応していきたいと考えております。	市民活動推進課
18	全体	推進体制について <ul style="list-style-type: none"> 「みんなで子育てするまち」とするため、地域との連携、学校と幼稚園・保育園との連携、行政各課同士の連携、次世代との連携など、多様なつながりを太くし、支え合える社会の中で子どもが育まれることを願う。 	今後も市が一体となって子育て支援に取り組んでまいります。	子ども家庭課
19	全体	財政措置について <ul style="list-style-type: none"> 本計画に沿いつつ、各事業者の理念をしっかりと実現していくための財政措置及び指導をお願いしたい。 	すべての子どもたちが健やかに育つために各事業者の方々と協力、連携し、本計画を円滑に実施していきたいと考えております。	子ども家庭課 保育課